

1. 事業経緯

中央自動車道富士吉田線 都留 IC は東京・名古屋方面への出入りのみが可能なハーフ IC でした。

2003年12月に開催された第1回国土開発幹線自動車道建設会議では、都留 IC の河口湖方面出入口が、中央自動車道富士吉田線の有効活用を図りこれと並行する国道139号の渋滞解消や地域の活性化などに資すると認められました。その後、国土交通省が、地域活性化インターチェンジ制度を利用し、2004年4月山梨県に対し連結許可、日本道路公団（現：中日本高速道路株）に対して施行命令を出しました。2007年12月に工事を着手し、2011年8月10日に完成することとなりました。

2. 整備効果

①移動時間の短縮

都留市（都留 IC）～富士吉田市（河口湖 IC）間の中央自動車道利用が可能となり、大幅な時間短縮による利便性の向上や国道139号の慢性的な交通混雑の緩和が期待されます。



都留市街地⇄富士吉田市街地(約15km)

- ▶ 【国道139号利用】
 混雑時 35分以上
- ▶ 【中央道利用】
 約20分



国道139号の渋滞状況

②地域活性化に寄与

都留市周辺の面開発や、数多く分布する観光拠点と地域資源を有機的に結び付け、多数で魅力に富んだ回遊型観光地の形成など地域の活性化に寄与します。

三つ峠、高川山などの美しい富士山を望むことができる登山・ハイキング、「平成の名水百選」の十日市場・夏狩湧水群、溪谷、温泉などの自然豊かな観光地と山梨県立リニア見学センターなどの観光地へのアクセスがよくなり魅力の富んだ回遊型観光地の形成が期待されております。



① 高川山からの富士



② 鹿留溪谷



③十日市場・夏狩湧水群



④ 芭蕉月待ちの湯



⑤山梨県立リニア
見学センター

③安全・安心なまちづくりの支援

医療や防災等の緊急時における高速性の確保や、道路混雑時の代替路として地域の人々が安全かつ安心して暮らせるまちづくりを支援します。

《参考》 都留市街地から富士・東部小児初期救急医療センター(富士吉田市緑ヶ丘)へは、これまでの所要時間が35分以上から約20分と、約15分以上の短縮となります。



- ①富士・東部小児初期救急医療センター
(夜間時の急な発熱などに対応)
- ②富士吉田市立病院
- ③山梨赤十字病院
- ④都留市立病院
(重症患者は、富士・東部地域②～④の病院で、
交替で対応)

3. 通行料金

都留IC⇔河口湖IC間の料金(通常料金)

(料金:円)

距離	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車
16.3 km	500	600	650	850	1,300

※上記通行料金は各種割引を考慮しておりませんので、ご利用にあたってはご注意ください。